

2025年7月23日 実習生の江口君が担当患者様のレジュメ発表を行いました。題名は「立位から右立脚中期にかけて右膝関節伸展と右足関節背屈の協調運動が困難であった右人工膝関節全置換術後の一症例」です。

発表当日は臨床日であり、神戸リハビリテーション衛生専門学校の高橋先生にも参加いただきました。江口君は、発表前から落ち着いた様子で、担当患者様の動作分析をもとに立てた仮説や統合と解釈を、丁寧にわかりやすく伝えていました。ただし、質疑応答の場面では高橋先生の影響もあってか、やや緊張した表情になりましたが、自分の考えをしっかりと述べていました。発表後には、参加者から今後の成長につながる建設的な助言があり、江口君は真摯な態度で聞いていました。発表終了後には、緊張がほぐれたのか、安堵と達成感の入り混じった笑顔が見られました。

今後もリハビリテーション科では学生指導に取り組み、理学療法士の質を向上させることで社会貢献してまいります。

(文責 藤原 聰)

【担当患者様のレジュメ発表風景】

